



## 主体性、自立性の芽

夏休みの期間7月、8月には、なぎさっ子は自然体験宿泊学習で力を発揮しました。

### 4年生のサマーアドベンチャー。(7/21～23)

吉和の沢のぼりは恒例になっています。今年は、沢のぼりの後、急な雨にみまわれましたが、何とか活動でき、達成感を味わえました。一日目のテント泊がハチの発生で急遽、施設泊になりましたが、保護者ボランティアの皆さんの応援となぎさっ子の勇気・チャレンジのおかげで、心に残る夏になりました。

### 2年生の八千代宿泊学習(8/22・23)

自分たちで育てたトマトやかぼちゃなどを材料にして手づくりピザをつくりました。あまりのおいしさに



みんな大喜び。計画した時間のとおりに自分たちの手で進めていくことができました。もちろん、友だちと力を合わせてできたことは、数えきれないほどたくさんありました。

### 3年生学校宿泊(8/23・24)

今年、新しい試みは、かくれ家づくり。思い思いの秘密の家が学校のあちこちでできました。暑さもなんのその。なんだかわくわくした気分でした。思ったことが形になるって、こんなにうれしいことなんですね。

### 1年生沼田校舎宿泊(8/24・25)

家では、おうちの人にしてもらうことが多い1年生ですが、このように何でも自分たちでしなければなりません。シーツを上手に使って、寝床づくり。夜、寝るときも友達と一緒に。おうちの人を思い出して涙が少し・・・？でも大丈夫。先生や友達がいれば安心です。2日間という短い期間にもかかわらず、立派になりました。



## イネ(もち米)

3年生が春から大切に育ててきたイネが実りの秋を迎えようとしています。今年の生育はどうでしょうか。これから、稲刈り、脱穀、もみすり、そして冬にはお餅つきまで楽しみな学習が続きます。

## 9月の生活目標

- 体をきたえよう(運動会)
- まわりの人にやさしくしよう

## きっとできる脳(あたま)

8/28の全校集会では、あきらめない心について話しました。毎日の暮らしの中では、いいことばかりではありません。しんどいことやあきらめたくなることがあります。それを乗り越える人とあきらめてしまう人ではいったい何が違うのでしょうか。何でもあきらめてしまうと、次も、その次もだめだと脳がささやきま

す。あきらめないで乗り越えた人は、「次も乗り越えられる」「次もきっと大丈夫」「方法を変えればできるかもしれない」「一人ではできないけど誰かと一緒ならできるかもしれない」など、考え方が前向きになります。このようにできないと決めつけるのではなく、「きっとできる」という考え方ができるような脳(あたま)になるそうです。「きっとできる脳」になると、くよくよしていたことが気にならなくなり、「やってみよう」という心が変わっていきます。すべてが変わるチャンスでもあるのです。自分の脳を「きっとできる脳」にしていきましょう。スポーツの秋、読書の秋、食欲の秋、もうそこまで秋はやってきています。自分の大好きなことを思いっきり、あきらめず、できるところまでがんばってみましょう。自然体験宿泊学習で友だちと力を合わせてあきらめない心を学んだなぎさっ子ですから、大丈夫ですね。

学校で練習したけど、なかなかうまくいかないなあ～。  
みんなで力を合わせてやるとうまくいくね。やった～